

事業番号	08 01 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	観光地域づくり推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課				
		実施期間	H24 ～	E-mail	mt-tourism @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・コロナ収束により回復した観光需要の地域への経済効果をより高めるため、多様化する観光客のニーズに対応し、長野県が持つ強みや個性を観光資源として最大限活かす観光地づくりが必要。
・また、観光需要回復に伴い観光業における人手不足感が高まっており、観光業への就業促進や労働生産性の向上に向けた取組が必要。

2 事業目的

県内DMO等の運営課題への支援や観光人材の資質向上や観光業への就業促進、生産性向上を図るとともに、信州ユニバーサルツーリズムや信州観光MaaSの推進等により旅行者の利便性向上を図ることで、「世界水準の山岳高原観光地（観光交流により産業の活性化や地域課題解決が図られ、暮らす人も訪れる人も長野県を楽しんでいる）」の実現に向けた受入環境づくりを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①持続可能な観光地域づくりの推進	
・観光地域づくり推進体制の司令塔・調整役である観光地域づくり法人（DMO）等の円滑な運営に向けて、観光機構によるコンサルティングや団体同士のネットワーク強化等を実施	
・世界の潮流である、社会・経済・環境に配慮した「サステナブルツーリズム」の取組を促進するため、国際認証の取得に向けた実証事業等に対する支援や、先進地域の取組の波及に向けた視察・情報交換会を開催	
・旅行者の利便性向上やデータマーケティングを推進するため、信州観光MaaS実装に向けた推進体制を構築	
②観光業における人材確保・人材育成の推進	
・持続可能で稼ぐ観光業の実現のため、市場変化への対応や人材定着のための労務改善等に向けた人材育成プログラムを実施	
・県内宿泊事業者の生産性向上を推進するため、DX投資に係る経費補助を実施	
③信州ユニバーサルツーリズムの推進	
・信州ユニバーサルツーリズムの受入環境づくりを進めるため、ユニバーサルツーリズムに係る専門知識を持つ人材の育成や、県内特別支援学校等と連携した学習旅行の実証事業を実施	
・ユニバーサルツーリズムの取組に要する専門機器等の導入に対する補助を実施	



（信州ユニバーサルツーリズム）

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	持続可能な観光地域づくりに係る国際認証(GSTC Top100)エントリー	地域	1	↗	4	↗	6	↗	6	達成	当該事業においてエントリー支援を想定している件数を目標として設定
②	持続可能で稼ぐ観光業に向けた取組を進める事業者数	者	81	↗	172	—	—	—	100	—	過去の類似事業の参加実績を踏まえて、全5回のセミナーに平均20者の参加を目標として設定
③	ユニバーサルツーリズム専門人材育成数	人	15	↘	6	↘	5	↘	8	未達成	事業者のニーズを踏まえ、R6年度の受講者数(見込値)の同程度の増加を目標として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆観光消費額	億円	2023 (R5)	8,549	2024 (R6)	10,047	2025 (R7)	10,866	2027 (R9)	11,500
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	訪日外国人旅行者の観光消費額	億円	2023 (R5)	541	2024 (R6)	1,136	2025 (R7)	1,305	2027 (R9)	1,750
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆外国人延べ宿泊者数	万人泊	2023 (R5)	149	2024 (R6)	234	2025 (R7)	251	2027 (R9)	330

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	560,512	343,460	903,972	198,360	484,752	7.8
R6年度	15,940	55,559	0	71,499	48,200	65,021	7.8
R5年度	0	57,025	15,940	72,965	64,942	40,217	7.8

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

【持続可能な観光地域づくりの推進】

- ・地域のDMO等が持続可能な組織運営体制を構築するには、DMOや観光協会間において、戦略の共有、類似事業の共同実施、人材・財源不足への対応等の連携強化が必要。
- ・これまでの支援対象 7 地域以外でも持続可能な観光地域づくりへの関心が高まりを見せており、県内全域へ波及が必要。

【観光業における人材確保・人材育成の推進】

- ・宿泊事業者は、国内外の急速な観光需要の回復に伴い、人手不足の状況が続いており生産性向上が急務だが、中小規模の事業者は費用負担等の理由からDX投資がまだ十分ではない。
- ・観光業全体でも、増加するインバウンド需要に対応し、より稼げる産業となるために高付加価値化が必要。

【信州ユニバーサルツーリズムの推進】

- ・専門人材の育成や専門機器の導入に向けた支援については、平成30年度から継続的に実施しているが、地域ごとに取組状況や意欲に差が生じているため、市町村等の理解を促進し、取組地域の拡大を図ることが必要。

(2) 事業改善の方策

【持続可能な観光地域づくりの推進】

- ・引き続き DMOや観光協会間のネットワーク形成等への支援を通じ、戦略の共有や事業の共同実施等を促すことで持続可能な組織運営体制づくりを促す。
- ・持続可能な観光地づくりに向けては、先進地域における国際認証を軸とした観光コンテンツの磨き上げや、新規地域における推進体制の構築支援等の実施を通じて、他地域の目標となる地域の一層の取組強化と全県への裾野の拡大を図る。

【観光業における人材確保・人材育成の推進】

- ・宿泊事業者の生産性向上を図るためDX投資にかかる経費に対する補助事業を継続的に実施し、持続可能で稼ぐ観光業の実現に向けた取組を推進する。
- ・観光業の高付加価値化に向け、新たな事業展開等を計画している経営者層を対象に、重点的な人材育成プログラムを実施する。

【信州ユニバーサルツーリズムの推進】

- ・県内取組地域の拡大に向け、先進事例の紹介等を通じて、市町村等に対して信州ユニバーサルツーリズムに取り組む意義及び具体的な手法の普及を図るとともに、専門人材の育成プログラムや専門機器の導入補助等の支援の活用を促す。

事業名	観光地域づくり推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課
-----	-------------	----	---------	-----	---------

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	観光地域づくり地域支援事業		17,178 千円	21,239 千円	22,812 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	観光地域づくり地域支援事業	負担金	・観光地域づくり法人（DMO）等の運営体制構築支援 ・観光団体同士のネットワーク形成に資する連絡会議・意見交換会等の開催 観光団体連携強化連絡会等の開催回数 4回		
2	観光地域づくりにおける研究機能強化事業	負担金	・「スノー」と「ワイン」をテーマに、県内各地域の特色・現状等を明確にする研究及び実証を実施 コンテンツ事例創出件数 1件、アンケート調査・ヒアリング 3種類		
3	スノーリゾート再構築支援アドバイザー	直接	・県内スキー場のグリーンシーズンにおける事業展開への助言 ・スキー場の地域との関わりや様々なデータを元にした意見交換 専門的知見や先行事例の実績を有するアドバイザーによる支援数 5回		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	サステナブルなインバウンド観光地づくり推進事業		13,904 千円	11,163 千円	11,144 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	サステナブルなインバウンド観光地づくり推進事業	負担金	持続可能な観光地域づくりに関する国際認証取得を目指す地域に対する実証事業の実施等による支援や、先進地域の取組波及に向けた勉強会等の開催 「世界の持続可能な観光地Top100」エントリー 3地域(R5～7計6地域)		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	信州観光MaaS推進体制構築事業		－ 千円	－ 千円	14,698 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州観光MaaSの推進に向けた体制構築及び調査	直接委託	信州観光MaaSの実装に向け、関係機関等との推進体制の構築に向けた検討及び必要な機能や既存の取組との連携方法に関する調査を実施 機能や連携方法等に関する調査報告書 1件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	観光業就業促進・生産性向上対策事業		5,199 千円	22,314 千円	432,935 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	持続可能で稼ぐ観光業の実現に向けた観光人材育成	委託	観光業が持続可能で稼ぐ産業へと発展するため、市場変化への対応や人材定着のための労務改善等に向けた人材育成プログラムを実施予定だったが、補助事業の業務量増加等に伴う業務の見直しにより中止 —		
2	信州おもてなしマイスター等の活動支援	直接	信州おもてなしマイスター間の交流促進とおもてなしの向上に向け、マイスターの活動共有やおもてなしに係る講義等を実施 交流機会開催数 1回		
3	宿泊事業者のDX促進に向けた支援	補助金 委託	宿泊事業者の生産性向上を推進するため、予約管理システムの導入・更新をはじめとしたDX投資に係る経費補助を実施 DX支援補助金交付件数 327件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	ユニバーサルツーリズム推進事業		3,936 千円	2,705 千円	3,163 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	実務人材育成講座の開催	負担金	慶應義塾大学との共同研究により、信州ユニバーサルツーリズムに関する専門知識・専門機器の取扱技術や、旅行商品化の企画ができる実務人材を育成 人材育成講座数 2講座		
2	学習旅行実証事業の実施	負担金	慶應義塾大学と共同で、県内小・中・特別支援学校等との連携の下、信州ユニバーサルツーリズムの学習旅行の商品化に向けた実証事業を実施 実証事業に取り組む学校数 6校		
3	アウトドア用車椅子等補助事業	補助金	信州ユニバーサルツーリズムの取組に要する専門機器(アウトドア用車椅子・デュアルスキー等)を導入するための補助を実施 補助件数 1件		